

## 会議録

令和2年3月18日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和元年度第10回定例会
開催日時	令和2年1月22日(水) 18時30分から21時00分まで
開催場所	柳沢公民館 第1会議室
出席者	委員：小野修平(会長)、西原みどり(副会長)、大友禾弘子、小林道子、遠藤修、大内俊、伊藤邦子、伊尻由起、渡部國夫、小沼純子、倉持伸江 職員：高田館長、國府方館長補佐、山本分館長(田無)、等々力分館長(芝久保)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野主査
欠席者	委員：山本一幸 伊藤正明 高井正
議題	<p>1 議題</p> <p>(1) 主催事業について</p> <p>ア 令和元年度公民館主催事業計画 (資料1)</p> <p>イ 令和元年度公民館主催事業報告 (資料2)</p> <p>(2) 中期計画(案)及び令和2年度事業計画について</p> <p>(3) 報告事項</p> <p>ア 第6回定例会会議録(案) (資料3)</p> <p>第8回定例会会議録(案) (資料4)</p> <p>第9回定例会会議録(案) (資料5)</p> <p>イ 行政報告</p> <p>(ア)教育委員会報告</p> <p>ウ 利用者懇談会日程</p> <p>エ 公民館だより編集室報告</p> <p>オ 都公連委員部会報告</p> <p>2 事務連絡及び情報交換</p> <p>(1) 公民館運営審議会委員研修参加確認</p> <p>(2) 社会教育委員研修会参加報告</p> <p>(3) 東京都公民館研究大会</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 2月定例会開催について</p>
会議資料の名称	【資料】 資料1 令和元年度公民館主催事業計画 資料2 令和元年度公民館主催事業報告 資料3 第6回定例会会議録(案) 資料4 第8回定例会会議録(案) 資料5 第9回定例会会議録(案)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 3名
会議内容	
<p>1 議題</p> <p>(1) 公民館主催事業について</p> <p>ア 令和元年度公民館主催事業計画 (資料1)</p> <p>○A委員</p> <p>子ども対象地域防災講座「段ボールオープンでピザをつくろう！」(柳沢)について、興味深い内容だ。どのような仕組みで、ピザができるのかお聞きしたい。火おこしはどんな材料、手順で行うのか。</p>	

○事業係主査

武蔵野大学の学生の協力を得て、段ボールにアルミホイルを敷いて手作りのオープンを作る予定。火おこしには木炭を使う。火おこしは、おやじの会等の協力を得る予定。子どもを介した地域の大人同士の交流の場としても考えている。

○B委員

発火材の種類は？ 風対策を周知する必要がある。

○事業係主査

むくのき公園スポーツ広場で行う予定。雨天時は児童館軒下で実施。児童館にある着火剤を使用する。

○C委員

子ども対象地域防災講座（柳沢）について、児童館との共催により、参加費が無料になったことは有意義だ。

○C委員

地域で創る教育ネットワーク講座「地域が育てる子どものチカラ」（芝久保）について、社会教育課、学校との連携はあるか。

○分館長(芝久保)

芝久保公民館を利用している地域の大人を対象としており、子どもが自分で考えていく力を付けることを本旨としている。保護者には参加していただきたいが、社会教育課、学校との連携の予定はない。

○C委員

地域で作る教育ネットワーク講座について、地域の大人への情報提供だけではなく、社会教育課経由で学校施設開放運営協議会へ情報提供も必要だと思う。

○分館長(芝久保)

けやき小運協、三中応援団の保護者を中心に声をかける予定である。

○C委員

親子体験講座「絵本の読み聞かせライブ」（芝久保）について、実施日が卒業式にあたるので、対象を小学校低学年に絞るべき。

○D委員

親子体験講座について、当日申し込みで、キャパシティは大丈夫か。

○分館長(芝久保)

多くの参加者が来た場合は、椅子やござを設置して対応する。

○C委員

青少年講座「オランダ400年の交流史」（保谷駅前）について、視察については安全を考慮し、複数の随行職員が必要。

○D委員

青少年講座について、一般論として、日本はオランダから、歴史的背景により好印象を得られていない。ぜひ仲良くできるような講座にしてほしいが、不幸な歴史を取り上げないで進めるのか講師とよく調整してほしい。

○分館長(保谷駅前)

随行職員数については考慮する。これまでの歴史的背景にどの程度ふれるか、未来志向で講師と調整したい。

○C委員

防災講座「今年の台風、水害から」（保谷駅前）について、タイトルから内容が連想できることも必要ではないか。地域に繋げるディスカッションは何処で実施するのか。

○分館長(保谷駅前)

タイトルについては検討する。講座では、地域資源の情報提供に留める。

○C委員

「第14回人形劇フェスタin西東京」（柳沢）について、柳沢公民館で実施することになった経緯を伺いたい。各館持ち回りの巡回開催の考えはないか。

○D委員

「第14回人形劇フェスタin西東京」(柳沢)について、継続は力、地域の発展も考慮して継続してほしい。

○館長

市内公民館で巡回することについては、実行委員会で検討する。柳沢公民館で開催するようになった経緯については、把握していない。

○D委員

「むこなみ田無芝つながるプロジェクトV o 1.1～防災から考える地域デザイン交流会～」(田無)について、多様な内容であるため、5年先の将来像を見据えて論点が拡散しないことを期待する。

○D委員

平和を考える講座「戦跡フィールドワーク～中島飛行機武蔵製作所跡地周辺を訪ねる～(芝久保)」について、2018年秋に図書館で類似事業を実施しているが、関連性はあるのか。

○分館長(芝久保)

昨年度好評を得たので継続実施するが、図書館との関連性はない。

●令和元年度公民館主催事業計画9件は承認される。

(1) 公民館主催事業について

イ 令和元年度公民館主催事業報告(資料2)

○A委員

子ども実践講座「書き初めに挑戦！」(芝久保)について、参加人数も多くアンケートも良好、年末であったが決して季節的に問題はなかった。継続を希望する。

○E委員

講師から一言。1日のみであったが、子どもたちに学校で習わないことも体験してもらった。

○副会長

学校以外でも、少人数体制での実技指導も必要だと思った。

○D委員

親子体験講座「自然の恵みで染め物もの体験」(芝久保)について、企画段階で材料の不足の心配や参加費に指摘があったが、問題はなかったか。

○分館長(芝久保)

原材料も足りて、きれいな青が出た。費用の問題も特段意見も無く終わった。

○D委員

親子で楽しむ講座「口承文学へのご招待～子どもの豊かな成長のために～」(駅前)について、各回参加人数にばらつきが出たのはなぜか。

○F委員

申し込みが別建てなのか。タイトルの工夫が必要だと思う。子育て中の親は、「わらべ歌」という言葉が入っていれば、わかりやすく多くの方が興味を持つ。別建てで申し込みを受け付ければよかったのでは。

○副会長

14時～16時という時間設定は幼児を持つ親にとっては参加しづらい。午前中がよい。

○分館長(保谷駅前)

親子体験講座は3回通して募集したが、1回目だけの聴講希望が多く、2回以降の無断欠席も見られた。今後時間設定は考慮する。

○D委員

「多文化カフェ」(保谷駅前)について、7月と12月に開催した理由は何か。連続して行った方がよかったのでは？

○分館長(保谷駅前)

「多文化カフェ」は各1回の単発事業であり、講師の都合により時期をずらして行った。

○副会長

人権講座「多磨全生園のコミュニケーション(自治)とハンセン病文学を学ぶ」(保谷駅前)について、文学を通じてのお話は初めてで有意義、学芸員の熱意が感じられた。講師のハンセン病資料館職員は、他の公民館でも企画があれば自分たちを活用してほしいと言っていた。

○C委員

予定していた映画がフィルム借り上げ料の関係で上映できなかったとあるが、計画書提出時にフィルム借り上げ料の金額について把握していたのか。事業計画書は、どの段階で公運審に提出されるのか。案の段階で提出されるのか。

○館長

視聴覚事業については、計画の段階で実施館を決めている。保谷駅前公民館も実施館の一つ。

○副会長

確定した内容で公運審に事業計画書を提出するよう、願います。

○C委員

防災講座「みんなで考えよう街の防災～わが子、わが孫、妊婦さんを守るために～」(ひばりが丘)について、参加者のアンケート回答に防災委員会の立ち上げを希望する、とある。市の自主防災組織への補助金制度等についての情報提供もしていただきたい。

●令和元年度公民館主催事業報告14件は承認される。

## (2) 中期計画(案)及び令和2年度事業計画について

○館長

中期計画を提案する。項目IVの事業計画を中心に審議頂きたい。御意見を踏まえ次回令和2年単年度事業を提出したい。

\*事業係主査より、西東京市公民館事業計画令和2～5年度(素案、骨子)について、資料に基づき概略、基本理念、視点を説明。

○副会長

公運審は、何について意見を言えばよいのか。

○事業係主査

具体的な講座等の事業ではなく、お示した基本となる考え方に基づいて、今後事業計画を立てていくことになるので、基本理念等についてご意見をいただきたい。

○会長

前期の公民館運営審議会では計画と評価の関係について答申した。ここに示されている基本理念は当然のことと、それを踏まえて、複数年度の事業計画の策定を求めている趣旨だった。

○館長

今回4カ年計画を作成し、これに基づく単年度事業を提出予定である。外部に表明する事業計画の基本理念に対する意見も頂きたい。

○副会長

今回の資料を持ち帰り次回審議、承認予定でよろしいか。

○C委員

日程として2月に質疑応答の上、承認は無理がある。関連計画を根拠に作成しているが、ここに挙げている計画は、どういう基準で選んだのか。

○館長

次回公運審定例会前に次年度事業計画を送付し、3月の定例会で中期計画、次年度事業計画の承認を得たい。

○会長

次年度の各館事業計画と、中期計画の並行審議は可能か。

○館長

次年度事業計画については、中期計画を踏まえて教育計画等と整合性を図り、各館で作成する。次回定例会で、単年度事業計画素案を示し、3月定例会で中期計画及び令和2年度事業計画についてご承認いただきたい。

○会長

例年では、次年度の事業方針を検討する時期だが、中期計画と次年度事業計画を次回の定例会で、あわせ

て審議するということか。

○館長

本来は中期計画に基づき、単年度事業が計画されるべきだが、今回は並行して作成し、お示ししたい。

○C委員

中期計画の市民参加手続きは、公運審に諮ることでよいのか。3月開催の利用者懇談会で提示する必要があるのでは。

○館長

公民館の利用者の代表である公運審の場で、市民の意見を取り上げたい。

○G委員

中期計画の作成には、検討時間が短い。1年は必要では。既存の事業評価、重点事業から焦点を絞った作成なら可能ではないか。

○B委員

既存の計画との相違を示して頂きたい。黒点の項目は重要順か。

○事業係主査

黒点の順は任意である。

○H委員

関連計画を理解した上での討議が必要。

○副会長

各種計画、文言を読み込むには時間を要するが。

○館長

答申では、中期計画は教育計画との整合性が必要とされ、計画の期間は同時期とされている。そのため、1年遅れではあるが、次年度から4カ年の計画を今年度中に確定すべきと考えた。皆さんは、どう考えるか、ご意見を伺いたい。

○会長

計画の策定は、プロセスを重視してほしい。

○C委員

関連計画を含め、時間をかけ情報提供をすべき。

○D委員

拙速な中期計画はクオリティに劣る。1年先に延ばしたら如何か。

○副会長

委員が基本理念について相互理解するには時間がかかる。先延ばしも一案。

○館長

次回、令和5年度からの中期計画については、教育計画も視野に入れ、市民参加も行いながら、本格的に作成する必要がある。今回は、どの程度の計画を作るべきかご意見をいただきたい。

○E委員

従来この時期、次年度の事業計画を審議してきた。我々が中期計画を審議するのは難しい。

○G委員

答申の作成時、段階評価のプロセスが大事と考えた。資料にある中期計画はゼロベースから時間をかけ公民館と公運審と利用者参加で長期的な検討も必要。一方、既存の事業評価項目から導き出す計画なら作成可能と思われる。

○B委員

まず教育計画の理解が必要。

○副会長

具体的な事業提示がない中、理念の検討は難しい。

○館長

中期計画については、答申の趣旨を踏まえて、次回再提案したい。次年度事業計画案については、2月に提示するので、3月までに承認頂きたい。

### (3) 報告事項

#### ア 会議録

第6回定例会会議録(案) (資料3)

第8回定例会会議録(案) (資料4)

第9回定例会会議録(案) (資料5)

○副会長

文言の訂正のうえ、第6回、第8回会議録について承認する。

○C委員

会議録への承認過程の記載、様式の統一を願いたい。

○会長

会議録承認スケジュールは、翌月の定例会で会議録案を審議し、次々月の定例会で承認とする。公運審においても会議録のマニュアル、様式を検討している。

●第6回、第8回会議録について文言修正の上、承認される。

(3) 報告事項

イ 行政報告

(ア) 教育委員会報告(資料6)

○館長

平成30年度の公民館事業の実績報告を行った。お配りした資料は各館ごとになっているが、委員会では総合的に、29年度と比較し、増減理由等を述べながら報告した。参加型学習を取り入れていることや、高齢化、働く母親、就労希望者の増加により利用者が減少傾向にある等の説明を行った。委員から、保谷駅前公民館に保育室として利用可能な一部屋があるが、保育室としての利用はないので、運用の見直しをしてほしいという意見があった。

○C委員

資料は決算時提出の事務報告と同じか。

○館長

同様のものである。

(3) 報告事項

ウ 利用者懇談会日程

●各館の日程を確認する。

(3) 報告事項

エ 公民館だより編集室報告

●担当委員より、「第10回公民館だより編集会議」について報告。

(3) 報告事項

オ 都公連委員部会報告

●担当委員より「東京都公民館連絡協議会第10回委員部会運営委員会」について報告。

2 事務連絡及び情報交換

(1) 公民館運営審議会委員研修参加確認

(2) 社会教育委員研修会報告

○F委員

今までは、地域が学校を支援するという関係だったが、今後は、コーディネーターを設置し、学校と地域が協働していくという内容だった。

○C委員

当日資料をデータで全員に配布してほしい。

(3) 東京都公民館研究大会

●公民館から事務連絡

3 その他

(1) 定例会開催について

2月25日(火) 18時30分から